



2年ぶりの水泳指導

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度は水泳指導が中止となりましたが、今年度は感染防止策を各校の実態に応じて工夫しながら、回数を制限した上で実施することができました。各校の様子についてお伝えします。

東小学校では、更衣室での密集を避けるため、それぞれの教室で着替えてからプールに移動して

いました。また、入水の直前までマスクをつけており、入水時に外したマスクを袋に入れてなおして

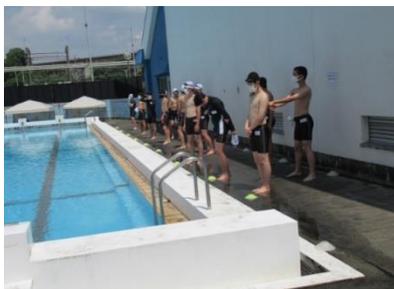


おくためのフックがプールサイドのフェンスに用意されていました。地面には、間隔のめやすとなるラインが引かれており、密を避ける工夫がされていました。

狭山中学校では、人数を減らすため、男子と女子の実施時期をずらしていました。更衣室では、ロッカーの使用が隣同士にならないようにするため、ロッカーに番号を明記し、自分の番号のロッカーを使用するよう指導されていました。また、東小学校と同様に、入水直前までのマスク着用、間隔を意識させるための目印など、感染防止策が取られていました。

コロナ禍での初めての水泳指導で、ルールもた

くさんある中での実施でしたが、子どもたちがしっかりルールを守り頑張っており、取り組むことができました。



タブレット端末を活用した授業づくり

南第二小学校

大阪府のスクールエンパワーメント推進事業「スマートスクール実現モデル校」の指定を受け、南第二小学校ではタブレット端末を活用した授業づくりについて研究を進めています。7月1日には大阪府教育庁と市教委の担当者で学校訪問をし、授業の様子を参観しました。

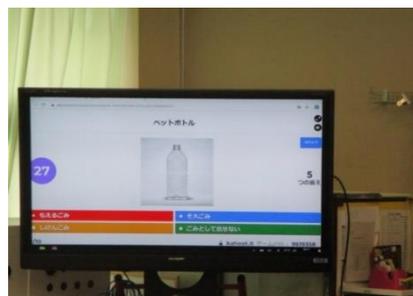
2年生では、生活の授業で育てている野菜を

写真に収め、生長の様子を時系列で整理し、様々な観点から生長の様子を見とることができていました。また、他の児童が育てている野菜についても考



ることができていました。

4年生では社会の授業でごみの処理についてタブレット端末を用いて学習していました。大阪狭山市のホームページを見て、燃えるごみ、粗大ごみ、資源ごみの三つの分別があることや、処理方法の違いについて理解してしま



た。そのうえで、教員がクイズ作成アプリを使ってごみの分け方をクイズ形式で出題し、子どもたちは端末を通して回答していました。

今後も市内で実践されているタブレット端末を活用した好事例を発信していきたいと考えています。